

会議等報告用紙

会議名	「令和元年度亀岡市まちづくり協働推進委員会」(第4回)
日時	令和2年1月16日(木) 午後1時30分～3時30分
場所	亀岡市役所別館3階会議室
出席者	委員：坂本委員長、松井副委員長、石田委員、阿久津委員、井内委員、田中委員、田部委員 松尾委員 欠席：中井委員、渡邊委員(新任)、深尾委員、吉川委員、森委員 事務局(田中部長、福田課長、樋口係長、谷口) 【傍聴者】1名
内容	1. 開会 ※楠委員は、1月1日付で選出団体である青年会議所の役員交代により委員を渡邊東高氏に交代された。 2. あいさつ 3. 協議 (1) 第3次亀岡市まちづくり協働推進実施計画の策定について (パブリックコメント等をふまえた最終案の作成に向けて) (2) 令和元年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援事業成果報告会について (3) 令和2年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援事業の制度について (4) その他 4. 閉会
報告	3. 協議 (1) 第3次亀岡市まちづくり協働推進実施計画の策定について ・多文化共生に対する要請が強くなるという流れは間違いなく、これについてももう少し強調して文章中に入れてもいいのでは。⇒委員長と事務局で調整。 ・「なぜ協働が必要？」(8ページ)に、地域ごとに明らかに異なる課題について記載しては。(亀岡市以内でも、市街地と山間地など、課題の多様化が著しい) ・「協働の流れイメージ」(9ページ)に、「地域課題の把握」だけでなく、課題の掘り起し(窓口など)も入れてはどうか。 (2) 令和元年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援事業成果報告会について ●今年度4月の昨年度事業の報告会と同じ形態を計画している。 ・取組団体以外の参加者が少ないので、発表後に研修会を開催してみてもいい。 ・団体ごとに発表の力量に差がある。パネルディスカッション形式で全団体に参加してもらい、(活動の)課題についてピックアップして意見を出し合ってもらおうというのも一つのアイデア。 ⇒報告会の形態について再度検討する。 (3) 令和2年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援事業の制度について ●今年度と同様の内容で実施予定。 ・これまでの支援金の道のりを記した印刷物作成や、過去の活用団体の現在、優良団体などの紹介をしてもいいのでは。 ★以上、協議事項(1)～(3)で挙げられた意見については、次回委員会までに検討する。 (4) その他 次回第5回委員会は2月27日(木)13時30分から